

東山魁夷画伯の世界と市民性

語る人

東山 魁夷

△日本画家・芸術院会員▽

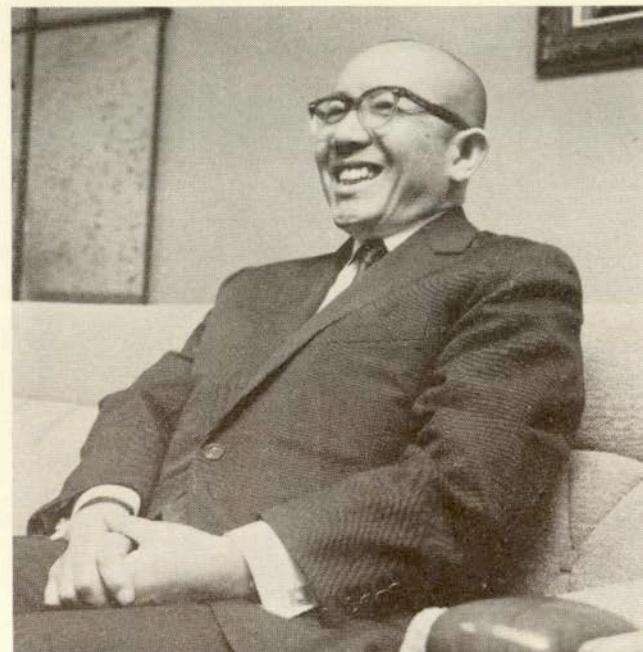
きく人

田中 寛次

△神戸新聞社長▽

植村 通生

△大丸神戸店長▽



▲東山魁夷画伯

★画家への志向を決定づけた神戸

編集部 われわれ神戸っ子にとりましてまずおうかがいしたいのは、神戸に住んでおられた頃の先生のお話といふことで、そのあたりからお聞かせ願いましょうか。

東山 神戸という町が、私の人間形成のうえでもっとも大きな、おそらくは決定的な役割を果たしているように思えます。よく、その人の性格は子供の時にだいたい決

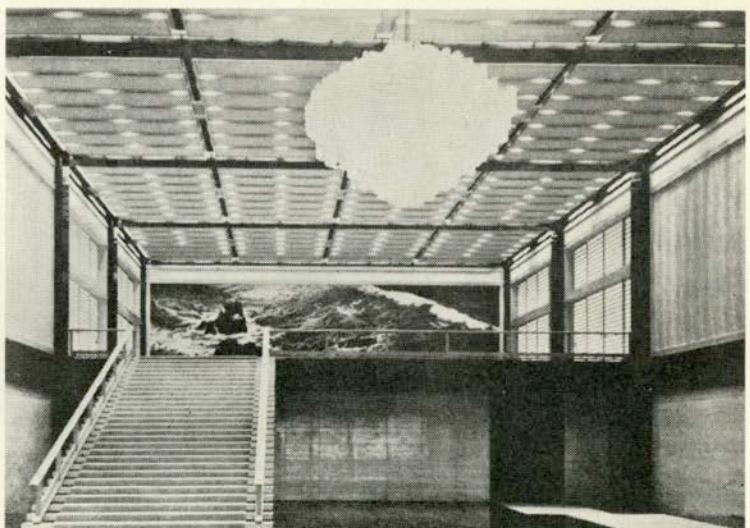
まるといわれますが、私の場合、三才から十八才まで、もつともだいじな時期を神戸で過ごしたわけです。

田中 東山先生は横浜のお生まれでいらっしゃるんですが、われわれ神戸の人間は身びいきから先生は神戸の人だと考えてます(笑)。

東山 横浜はたしかに生まれたところなんですが、ほとんど記憶はないんです。ただ私の記憶の奥深くに古い洋館に対する愛着といったようなものがあります。これ

田中 お住まいが西出町だとすると、そのころ、潮の香りが海から流れていったでしようね。

東山 いままでも香ります。家の近くの路を出るとすぐ港の倉庫が建ち並んでいました。あの辺りはいわゆる神戸港ではなく、兵庫港と呼ばれているところです。立派な神戸港ではなかったのですが、赤い提灯のかかった淡路、徳島行の待合所がありました。豆かすのにおいがぶらんと匂つたり、ギーギーという櫓帆船というので、すかその帆柱のきしむ音がきこえました。私の家の二階からもその帆柱がよく見えました。それから、ポンポンポンと小気味よい小蒸氣船の音、大小の汽笛を毎日きてホテルに泊まっていた時、夜、静かな室内に汽笛がきこえてきた時は、ほんとうに懐しく思いました。



新宮殿南溜に描かれた「朝明けの潮」
みなみだまり

★史蹟とハイカラの同居する街

神戸には二つの性格があります。開港以来百年を経ましたけれど、西洋文明のとり入れ口としての常にハイカラな面。もうひとつは古い面です。神代とか神功皇后といった時代は別にして、源平、南北朝時代の史蹟がたくさん遺っていますね。私の住んでいた西出町に銭湯があるんですが、その銭湯の隣りの小さなお宮に平経俊の墓がありました。そういうたぐあいに、神戸にはなんでもないところに史蹟が多く遺っています。また、兵庫というところは旧い日本のしきたりがのこつていていたところで、お祭りになるとみんな幔幕をはりめぐらし、商店では店さきを片付けて屏風をたてたりしていました。その新しさと旧さの両方の存在が、私を形成したモチーフではなかつたかと思います。そして、新旧の間を搖れながら歩んできたのが私の芸術の道だったといえます。

最初美術学校に入る時も、ほんとうは洋画を受けるつもりでいました。日本画にはまだ関係のない時分でしたから。もつともの方は画には全然縁のない商売をやつ

は横浜、神戸というところで幼少年時代をおくったことは横浜、神戸というところで幼少年時代をおくったことによると思います。三才の時にこちらに来たんですけど、神戸はなんといいましても景色がいいですね。山と海にかこまれて。わたくしいつか神戸新聞に書いたことがあります。子供の頃身体が弱かったのですから、夏休みによく母が、朝早くから私を裏山の小高いところに、運動を兼ねてつれていくんです。西出町とか湊川町といった海に近いところから行くものですから、相当な距離がありました。それでも小高いところに登つて、市街や海を見渡しますと清々しい気分になりました。その時のさわやかな印象はいつまでも忘れられません。



植村大丸神戸店長

ていましたが（笑）洋画は當時、神戸のことですから西洋の美術書も出まわっていました。私もゴッホとかミケランジェロといった有名な西洋画家の伝記を読んでいました。ところが日本画の方になりますと講談程度の伝記しかなかつたんです。そういうことで西洋画の方に親しみがもてたものですから、油絵の方に進むつもりでいたわけです。

★市民性豊かな神戸

東山 美術学校をでるとすぐドイツへ留学しました。日本画をやっていながらドイツ留学とはおかしな話ですが、神戸という土地柄から考えると、なにかそこに不自然でないのを感じますね。ドイツ留学ではいろいろ西洋的教養を多く学んだわけですが、そのことがむしろ、日本画をやるうえでよりプラスになつたと思います。

したね。私もある期間京都にいましたが、たしかに古さの京都と新しさの神戸という異質なものに、じかに接することによって、両方がより鮮やかに生きてくるといえ

東山 いつか新聞でみたのですが、日本の各都市で調査した市民アンケートの「あなたは死ぬまで今のところに住みたいですか」という項目で、イエスと答えていたのがほとんどの都市では半分以下なのに、神戸では九十パーセントを超えていました。たしかに市民というとばがそのままふさわしいのは、日本では神戸市民だけだと思いません。市民意識をもった市民のよさというものが神戸にはあります。桦のない常識と明るさと健康のなすところでしょうね。芸術におきましては魂をすり減らすような



田中神戸新聞社長

田中 兵庫高校に今でもあなたの画があるそうですが、
それは洋画ですか。
東山 日本国画です。最も初期のものですが、もうずいぶ
んよごれています。

そのことが私の場合、一見ごく普通の健全なる市民タイプの様相をさせているんではないかと思います。

田中 いま先生がおっしゃったような話が「神戸っ子」に載ると、読む人にとって東山さんがますます、身近に感じられるというか、惹かれていくんじゃないでしょうか。たいへん尊いことだと思います。

東山 結局、大局的に芸術家というものがあるとすれば私の場合、むこう側ではなくて、市民の側にいるわけです。自分でも、そうあるべきだといきかせていくつもりです。

田中 展覧会に来られている人も肌でそのことを感じてるでしようね。

東山 芸術の鬼と呼ばれるものに、ある面では感心するんですが、鬼才というもののあり方に私は疑問をもっています。仕事の鬼ということになりますと、また別ですが。芸術からみればなまぬるいといわれるかも知れませんが、私の場合、両者の間の張りつめた緊張感の中に立つことをひとつ支えにしています。

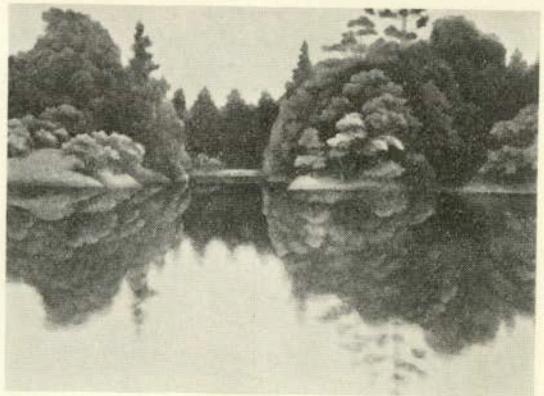
★『魁』は北斗七星のいちばんめの星

田中 これはぜひおうかがいしておきたいのですが、先生の画号「魁夷」が常識的には考えられない、しかも、直接先生にお会いしまして、お人柄と画号がまったくおぐわない感じを受けます。画号はどのような由来からおつけになりましたか。

東山 画号は美術学校を卒業した時につけました。それ

まで在学中に、当時の帝展に二度、本名で入選しておりましたので、いま号をつけないと本名の方が通りになつて号がつけられなくなると思い、いそいでつけたものです。どういう号をつけようかとおおいに迷いました。

わたくしは、一方において非常に常識的なところがあるんですが、やはり別の一方には非常識な面をもつてます（笑）日本画家の号は、おめでたい字やきれいな字



「夏 深 む」

健康でありえないようなことをやる場合が多いのですが私の場合、さつき申したような市民性というものが子供の頃から体の中に入つてましたので、画をやるうえでの大きな支えになつてきました。

★平凡の中の非凡 市民性の中の芸術

ところがその市民性が逆に、芸術にすすむうえで障害になりました。といいますのは、父親は私が画家になることに猛烈に反対していました。父にすればせっかく育てた自分の子どもが、得体の知れない芸術の世界に入ついくことに不安を感じていたようです。眞面目な市民になれということですね（笑）実業の方をやらせて、いわゆる健全な市民に育つてくれるよう頑張っているのに息子はあまりにも不可解な世界に入つていく（笑）しかし私自身も芸術家というものに対しても、小さい時から疑問をもつており、そういう意識を常にもつていました。

幸せな二人
えにしを結ぶ 結納儀式用品

壽



新型ケース入御結納飾

合資会社

遠藤福寿堂

東店-神戸市生田区トア・ロード高架上る TEL<39>代1871

西店-神戸市長田区市電菅原東入る TEL<55>代2251

メトロ神戸店-神戸高速地下街 TEL<34>1035



新入社員歓迎会はスカイサントリーで

★すばらしい眺望！
★ミナトコーケを見おろす大ホール
★被露宴・パーティ・送別会・歓送迎会
に大変ご好評をいただいております



お気に召すだけ

飲みほうだい（サントリー純生ビール
クラウン・コーラ）+食べほうだい！〈北欧風ヴァイキング料理〉1,200円〈飲食税120円別〉
カクテル、デザート、コーヒー、一品料理も盛だくさん準備しています



なごやかな
ムード
すばらしい
眺望！

三宮交通センタービル9階 TEL 033705-6

スカイサントリー

5月～9月上旬までビヤ・ガーデン開設



「朝明けの潮」制作中の東山画伯

をならべて感じのよい号をつける風習がありました。私はそういう風習に反抗して、おめでたい、美しい号はなんだか自分の考へている日本画の方向と違っているよう感じられましたので、また、日本に名が知れわたるなどとは夢にだに考へていませんでしたので、普遍的でないかわった号をつけたわけです。カイという文字は最初「槐」えんじゅの意味ですが、それを使うつもりでいました。ところが、やはり画家で村山槐多という方がおられたんです。しかもその方の本名でもあったことから、真似になつてもいけないので、『槐』をあきらめてさきがけという意味の『魁』を使うことにしました。下の文字は下の方が開いていて一字で発音できる文字を考えました。しかも号がヒガシヤマとコントラストをなす方が格好がつくということで結局『魁夷』ということになりました。

これはおめでたくないというつもりでつけたなんですが以前井上靖さんと対談した際、井上先生から鬼へんのつ字は下の方が開いていて一字で発音できる文字を考えました。しかも号がヒガシヤマとコントラストをなす方が格好がつくということで結局『魁夷』ということになりました。これはおめでたくないというつもりでつけたなんですが以前井上靖さんと対談した際、井上先生から鬼へんのつ

く字は星をあらわし、『魁』は北斗星のいちばんめの星だと教えられたんです。するとこれは大へんおめでたい名前だということになり、私の考へておったことといさか事情がかわってきました（笑）。それでも、この号が私自身の性格や画と違うなあと考へたこともあります。が、いまさら変えてもと思いそのまま続けてきました。私の画はだいたいやわらかいものが多いのですが、なかにはある程度きついのもあります。魁夷の画もあるとうわけです（笑）。

★パンカラ神戸二中に学ぶ

東山　もう一度子供の頃を思い出しますと、さつき申しましたように住んでいたのは兵庫の下町なんですが、筋むかいに小さな教会がありました。庭に杏竹桃が咲いていて、小じんまりした教会なんですが、毎年一月元旦に朝六時頃、その教会の塔から音楽が流れてくるんです。それがなんと「君が代」なんですよ。新開地に近かつたので、劇場の樂隊が来ていたのかもわかりませんがいかにも神戸の一面を物語るような気がしましたね。小学校は今でもありますし、入江小学校に通っていました。大きな太鼓がありまして、授業の始めと終りにたたいていました。

それから当時の神戸第二中学へ進みました。神戸二中というところはパンカラを誇りとし、またスバルタ式の学校でもありました。画家では小磯良平さん、古家新さん、田中雄夫さん、詩人では竹中郁さんなど多数の詩人画家を輩出しています。そこでまた感じるんですが、たとえば小磯さんの画をみましても、やはり根柢になつてゐるのは市民性に対する共感ですね。やはり神戸の中にはそういう要素があるといえるんじやないでしようか。ですから私も市民性とかけ離れた、人を驚かせるようなものを描こうという気はしませんし、そういういた画法画風にのつとつていただきたいとも思いません。

編集部 先生はこのたび、新宮殿壁画という美術史上にのこる偉業を達せられたのですが、そのことに関しておはなし願います。

東山 そのことはよくきかれるのですが、さきの東宮御所にしましても、このたびの新宮殿にしましても、壁画を描くにあたってまず頭に浮かぶのは、権威の象徴といったようなものではなく、国民のもつてゐるおおらかで平和な願い、そういうものでした。宮内庁としましてもむしろそのように望まれていたように思います。そういう意味で平明ということを画にしてみようと考えたわけです。

田中 東山さんは謙虚な方なのでおっしゃいませんが、陛下は「朝明けの潮」をご覧あそばされてから東山さんに、ありがとう、とひとことですが、おほめのことばを賜われたそうですね。陛下のそのことばは、飾り気のないお持そのままの表現で、国民的な喜びがそのなかにあると思います。

東山 そういう風におっしゃられると恐縮なんですが、陛下は、新宮殿ができたことをひじょうにおよろこびのようです。いく度も新宮殿に足をおはこびになられていふとおききしています。この新宮殿は全部完成してはいりますが、四月の天長節（天皇誕生日）からお使いになられるそうです。

★波と岩を求めて全国行脚

植村 「朝明けの潮」は波と岩からなっていますが、私自身、日本海でなく太平洋側ではありますが、海の近くに育ち、荒磯の風景になじんで育つてきましたので、ことさら感じるところがあります。

東山 画材から一切をまかされていましたので、日本を

象徴するような風景を描いてみようということで、いろいろ考えてみました。日本という国は、神話の御代から海に関係のある国で、今でももちろん四方を海にかこまれた四周環海の島国です。ですから、日本中いたるところに海岸の風景のいいところがありますので、海を描こうという気がまずおこりました。しかし海といつてもただ漠然としていて、どんな構図でもできますが、それだけにそのなかのひとつを選ぶとなりますとむづかしくなります。全国随分あちらこちらを写生しながら行脚をしました。その経過を大丸での展覧会でご覧にいたわわれたのです。

幸いに、このたびの一連の展覧会では、みなさまからたいへんご好評いただき、また多数の人にご覧いただきました。その経過を大丸での展覧会でご覧にいたわわれたのです。

田中 我々としましても、先生の画を神戸にもってこれたことに深く感謝しております。そのおはなしを申し上げた時になんら躊躇されることなく快諾されたときは、ほんとうにうれしく思いました。十万人近い方が入場されたようですね。

植村 新聞では六日間で七万人と報道されていますが、そのほかにうちの従業員が何度もみにいってますし、東階段からの入場者が数に入っています。十万人とみてさしつかえないでしようね。会場をひろくとっておきましたのも我々にとって幸いでした。

田中 先生を慕う市民、県民のみなさんが、新宮殿落成を通じまして、さらに先生を身近に感じるようになつたあらわれじゃないでしようか。

編集部 会場に来られた方もみなさんなごやかな様子で画をご覧になつていましたし、何度もみに来られた方も多かったです。先生がおはなしになられたように、市民の側の芸術そのものを我々も直接感じることができました。どうも、お忙しいところを長時間ありがとうございました。

■座談会■ <2> 神戸二中同窓生東山魁夷画伯を語る

文学好きな紅顔の美少年



神戸二中同窓生に囲まれて 左から 高木太郎・青木一夫・東山画伯・中山清二・上山茂・岩木年中の各氏

高木太郎 神戸大学教授 教育学部長

青木一夫 洋画家

中山清二 株式会社興人顧問

上山茂 寒山寺執事長

岩木年中 岩木病院院長

★文学好きな紅顔の美少年

高木 個人的にはこれといった想い出はないんですが、中学時代の写真なんかを見ていると、よくぞ立派になつたと感服しますね。

上山 ぼくのいとこが東山君の兄さんと同じクラスだったもんで、はじめは東山君の兄さんの方をよく知つてたんです。たしか兄さんは十回生じゃなかつたかな。東山君は兵庫の八幡さんの近くに住んでましてね、そこから通つてしまつた。

おもしろいことに中学四年の頃われわれの間では、東山は小説がひじょうにうまかったんで、小説家になるんじゃないかというとたんですよ。画の方に進むとは思わなかつたし、失礼ないい方だけど、これだけの大家になるとは思わなかつたね。

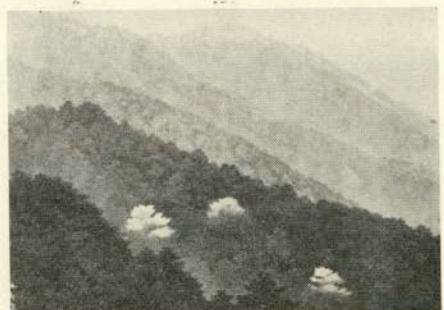
中山 今日来ておられませんが、阪部という先生がおられて、東山はその先生によく世話になつたというか、激励されていましたね。

東山とは幼稚園、小学校から同じで、家も近かつたんだが、東山はいわゆる紅顔の美少年型でよく可愛がられてたよ。しかし、東山のお父さんは美術学校には反対ですぐにでも高商に入れるつもりでいたらしいんだなあ。阪部先生は英語の先生で、東山の画をどの程

かなあ。
中山 率直にいって、一中は秀才

★自由の氣溢れる神戸二中

型で紳士型で、僕らの二中はパンカラだつた。僕らはそれを誇りにしていた。みなさんもご経験あると思うが、昼食の時でも床に座り込んで、砂ぼこりにまみれて食つたもんだ。そんな泥くさいところから小磯さんや東山のような画描きが生まれるというのはどういふことかな。



「曙」
あけぼの

さきほど高木君がいわれたように、二中には秀才教育をする先生が多かつた。

上山 ダルトン・プランとかいて自由教育の中で、個人の才能を伸ばす教育をする先生がいた。

岩木 結局、バイタリティが強烈だったといえるね。沢山生徒がい

たけど、各々が運動に、芸術に、音楽などもいつもそのことを考えるんだ。

高木 先生がちがつてたね。一中にはまつたような教育をして

いたが、二中には自由な氣風が満ちていた。それだから二中の生徒

はあらゆる方面に自分の持ち味を生かせた。先生にしてもよかつた

ね生徒の才能を発見する先生がおられた。東山君の才能を発見した

のが堀先生だつたんだ。

岩木 僕も東山君の場合、堀先生が問題だと思うんだよ。

高木 堀先生は習字も教えられた。ひじょうに穏やかな先生でよかつたんですが、惜しいことにすぐよそへかわられた。

青木 堀先生は日本画をやっておられた。それから、私は知らなかつたんですが、東山君の話では堀先生の前に、油絵をひじょうに熱心に指導される先生がいたようですね。

★生徒の才能を生かす神戸二中

岩木 それにしても二中から、小磯良平さんにしてもそつたが、なぜにこれだけの画家が生まれたん

度評価したか判りませんが、何度も東山の家へいってお父さんを説得されたということを、先生からも、また東山からもききました。

高木 東山も恩師についてそういうことを本に書いてましたね。東山が美術学校へいく決心がついたのも、やはり阪部先生に負うところが大きかったんじゃないかな。

中山 らしいね。我々のような門外漢には彼の力量がどれぐらいのものだったかは解らなかつたけれど、こうまで有名になるとは思わなかつたなあ。

岩木 堀先生は習字も教えられた。ひじょうに穏やかな先生でよかつたんですが、惜しいことにすぐよそへかわられた。

高木 堀先生は日本画をやっておられた。それから、私は知らなかつたんですが、東山君の話では堀先生の前に、油絵をひじょうに熱心に指導される先生がいたようですね。

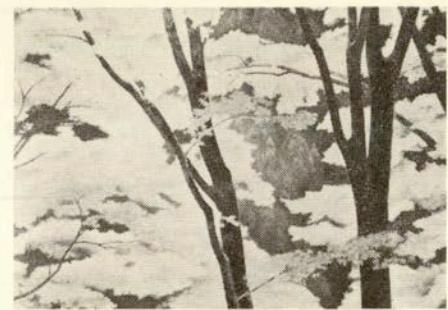
青木 二中はどの学年も成績を発表してたんだがぼくらの学年だけはそれをやらなかつた。学年主任によつてちがうんだけれど、初め

当時、画だけに限らないけど、そういう仲間は自然に集まつたのでした。しかし、家では大へんな圧力を加えられたもので、みんなはかまの下に道具を隠して出掛けたもんです。

高木 二中はどの学年も成績を発表してたんだがぼくらの学年だけはそれをやらなかつた。学年主任によつてちがうんだけれど、初め



「年暮る」



葉紅葉照り

生徒に考えさせるといつたぐあいだ。

中山 それだからくらも卒業できたのかも知れん（笑）誰も成績なんて気にしなかったね。それでも画を描くとならしんどいことだつたなあ。東山には天賦の才があつたんだ。もちろん先生もよかつたんだろうが。

★名文家 東山新吉

青木 その時分画をやる人はたいへん文学好きでしたね。東山君の場合も白樺派の流れをひいてたんじゃないかな。ひじょうに文がうまかったですね。

中山 たしかに文章がいいですね

上山 植栗與門という先生がいて東山の文章はうまいって教室で読み上げてましたよ。そんなわけで私は、彼が小説家になるんじやないかと思ってたんです。

中山 植栗先生が東山をかわいがるんで、我々悪童は始んでたんだよ（笑）それぐらい東山をかってたね。

上山 東山がきたら、いよお、東山っていうようなもんでね（笑）

高木 ヒイキというか、そういう風にわれわれはみていたね。よく東山の文章を読んでたから。上山 東山がおもしろいことをいつたよ。ある時同窓会で、これ

からはみなさん結婚されるでしょうが僕は画の方に進みます。みんなのためにもくらでも画をかきますので遠慮なくいってください

中山 今はいたくてもいえないなあ（笑）

しかし、東山にもみじめな時代があつたんだ。画を全部売つてしまつてね。スケッチブックまで画商にチェックされてたんだ。それでいたんだ。安井曾太郎といつた大家でも、なくなつた後奥さんは大へん苦労された。そのことをひきだして、東山に君もマネージャーをつけるかどうかせんと奥さんがこまる。

東山は、最近ちよつと肥えすぎてるね。おととしの慰靈祭の時、こんどはそのことをいつた。俺みたいな野人はいつ死んだってかまわんが、君みたいな國宝的人間はまだまだ長生きしてもらわんといかん。適当に運動をして身体に注意してくれってね。ところが東山は夜しか画が描けないらしいんだな。律気なんでひっぱり出されるとよう断らんし、また最近は芸術院会員にもなつたんで、マスコミが放つとかないんだな。

とにかくこれからもどんどん立派な画を描いてもらいたいね。

上山 それからいつまでも神戸という街と、二中を忘れんではしいな。

K O B E の
気楽な雰囲気が
楽しめる
CLUB 《落》

*



CLUB ふき

落



生田区下山手通2丁目 TEL 39-1515

CLUB



デッサンのあるクラブSが
花の4月。オープン11年を迎えました。

4月4・5・7・8・9・10日の6日間

楽しい記念パーティをひらきます。
ぜひ、一度お立寄りください。

クラブ・エス

福島里子

神戸・生田区下山手通2-6
PHONE: 078 (33) 2406